

# 市民講座「がんところろの関係」無料講演会

～サイモントン療法によるがんのセルフ・コントロール法～



講演者:川畑 伸子

米国マサチューセッツ州エンディコットカレッジ卒業後、経営コンサルティング会社、貿易会社を経て、通訳・コーディネーターとして独立。通訳の仕事を通じてサイモントン療法に出会い、以降Dr. サイモントンの専属通訳として仕事を重ねると同時に認定セラピストとしてのトレーニングを受け、2001年米国で認定を授与される。日本におけるサイモントン療法の第一人者。著書:『サイモントン療法～治癒に導くがんのイメージ療法』(同文館出版)

サイモントン療法は、米国の放射線腫瘍医で心理社会腫瘍学の権威カール・サイモントン博士が開発した、がん患者さんと支援者のための癒しのプログラムです。近年ではがんのみならず、ストレスに起因するさまざまな病気に対してプログラムが提供されています。(今年は5月17日～22日に伊豆高原にて6日間のプログラムを開催予定)

がん治療の第一線に携わっていたサイモントン博士は、治療を重ねるにつれ、病状は同じ患者でも回復力に雲泥の差がみられるという矛盾を何度と無く目の当たりにする事により、自分が施す医療に行き詰まりを感じるようになりました。同じ診断の患者さんに対して、同じ治療を行っているのにも関わらず、成果が出て健康を取り戻す患者さんと、期待した成果が得られずに死を迎える患者さんに分かれたからです。ここで患者さんの精神状態・心理状態が病気の経過に大きな違いをつくることに気づきました。希望を持って治療または日常生活に取り組む人と、絶望感に苛まれながら暮らす人では病気の経過に大きな差が出ていたのです。病気は、その症状が緩和されたり治まるだけでは健康になったとは言えません。心も身体も、その人そのものが癒されてこそ、初めて真の健康が得られるのです。

“サイモントン療法＝がんのイメージ療法”として解釈されていますが、イメージ療法はサイモントン療法の一部であり、実際は多角的、包括的なアプローチで人間の自然治癒力を支える取り組みです。病気に限らず、一般的なストレスケア、心身の癒しにも寄与するものです。今回はサイモントン療法の理論と実際について、日本での第一人者川畑伸子が皆さんに語りかけます。

## 市民講座サイモントン療法無料講演会「がんところろの関係」

[日 時] 2010年4月25日(日)14:00～15:30(1時間30分) 13:30受付開始

[場 所] 日本大学医学部板橋キャンパス 図書館棟4階 医学部記念講堂

[交 通] ●東武東上線大山駅徒歩15分 ●池袋より国際興行バス4番「日大病院行き」終点下車

[定 員] 200名(Fax・電話または電子メールにて事前の参加登録をお願いいたします)

\*お申し込み・お問合せは以下まで

NPO法人サイモントンジャパン

〒173-8610東京都板橋区大谷口上町30-1 日本大学医学部内科学系統合和漢医薬学分野内

Fax:03-3946-8822 Tel:03-5856-9053 E-mail:info@simontonjapan.com

[URL]http://www.simontonjapan.com/

主催：日本大学医学部附属板橋病院 共催：日本大学医師会・NPO法人サイモントンジャパン